

多様な言語文化背景をもつ子どもたちのリテラシーフォーラム 4

2017年3月5日(日) 13:00-17:00 於：聖心女子大学

子どもたちの日本語の力を描く、育む

—「日本人児童生徒」と「JSL 児童生徒」の日本語の力の分析／測定方法の検討から—

13:00-14:50 パネルセッション 1号館 205 教室

「日本人児童生徒」と「JSL 児童生徒」の日本語の力の発達とその教育

発題1 「小学校高学年児童及び中学校生徒の日本語表現の不適合性の分析から」(仮)

伊坂淳一氏 (千葉大学)

発題2 「JSL 児童生徒の日本語能力アセスメント実施支援の成果から」(仮)

渡部倫子氏 (広島大学)

発題3 「日本語の力を育む指導・教育—小学校の教育現場・教科書から」(仮)

森篤嗣氏 (帝塚山大学)

進行：齋藤ひろみ (東京学芸大学)

15:00-17:00 科学研究費 研究成果の報告

1 口頭発表 15:00-16:00 …発表内容は決定し次第お知らせいたします

(1) 2013-2016年度 科学研究費基盤研究 (B) 研究課題番号 25284096 代表：渡部倫子

「アーティキュレーションを保証する言語能力アセスメント実施支援システムの構築」

報告者：渡部倫子 (広島大学)

(2) 2014-2017年度 科学研究費基盤研究 (B) 研究課題番号：26284071 代表：齋藤ひろみ

「地域・家庭の言語環境と日本生育外国人児童のリテラシー発達に関する調査研究」

「言語習得のメカニズムから考える外国人児童のリテラシー発達—理由表現に焦点を当てて」

報告者：橋本ゆかり (横浜国立大学)

2 齋藤科研のデモンストレーション・ポスター発表 16:10-17:00

2会場で、前後半で同じセッションを2回行います

	デモンストレーション	ポスターセッション 1号館 212 教室
16:10-16:35	話しことばチェッカーの機能と作文分析の結果 岩田一成 (聖心女子大学)	日本在住外国人児童の「意見を述べる」力の発達— 小学4年生の「意見文」の分析から— 齋藤ひろみ・菅原雅枝 (東京学芸大学)
16:35-17:00	(1号館 205 教室)	日本生育外国人児童の「出来事作文」にみられるね じれ文の分析—接続形式「て」に注目して— 工藤聖子 (東京学芸大学修了生)

定員：100名 参加費：無料 お問い合わせ 齋藤ひろみ (shiromi@u-gakugei.ac.jp)

申込：1月1日～3月4日 web サイト「こくちーずプロ」でお申込みください。

<http://www.kokuchpro.com/event/d946c88763ea5336a49eb4a63fe09ac3/>